



# “龍勢神中” 生徒会旗誕生の秘密

生徒会が毎朝掲げる、神町中学校の生徒会旗。そこに描かれているのが、龍をあしらったエンブレムである。休校になって以来その生徒会旗が姿を掲揚されることなく、これまた生徒のいない学校の寂しさをかもしだしている。さて、この龍のエンブレムにはどのような意味が込められているのか、夢色通信社ではその由来と意味を調べ上げた。



神中の桜も満開です！

龍の頭の部分は、神中の顔である3年生を表している。3年生と2年生で、1年生をはさみ、守っている。

開校当初から正門にある桜。神中をず〜と、見守ってくれている。

龍の胴体の部分は、これからどんどん成長していく1年生を表している。

神中生としてのプライドをもって生活していこうという決意。

黄色で神中の「J」を入れている。

龍のしっぽの部分は、神中を陰でしっかりと支えている2年生を表している。

## JINMACHI J.H.S 生徒会

このエンブレムがつくられたのは、平成30年度。神町中学校の創立25周年を記念し、笑顔と伝統を未来に繋げたいという願いを込めて、生徒会で作成したそうである。当時の生徒会スローガンが「infinity（無限）」であったことから、全体で無限のマーク「∞」を表し、「龍勢神中」の良い伝統がずっと続いていくようにとの思いも込められているそうである。